

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和 2 年 2 月 29 日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令の基準を上回るスペースを確保しています。療育に集中出来るように机の位置、向きなど配慮しています。	今後も利用定員とスペースが適切な関係になるよう努めます。
	2	○		基準以上の人員配置で、保育士や児童指導員の専門職員も配置しています。	今後も適切な職員数の配置を行って参ります。
	3	○		生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか、また、障がいの特性に並び、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	今後も児童の安全に配慮し、適切な環境を心掛けて参ります。
	4	○		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	衛生環境への配慮は継続し、尚一層、児童の個性に配慮し、活動に合わせた活動空間を保つよう心掛けます。
業務改善	5	○		定期的に常勤、非常勤問わず参画、PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	今後も定期的な会議で、各自が評価、業務改善策について検討し、提案し、討議して参ります。
	6	○		保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	今後この評価に基づき、職員で共有検討し、業務改善に繋げていきます。
	7	○		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	今後も、公式 Web サイトにて公開を行って参ります。
	8	○		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者による外部評価については今後課題として検討して参ります。
適切な支援の提供	9	○		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	今後は外部の研修にも参加し、研修の参加者が情報や知識の共有を図るため事業所でも定期的に研修を行い、研鑽に努めて参ります。
	10	○		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	今後もアセスメントにより保護者様のご意向を踏まえ、児童発達支援計画を作成していきます。
	11	○		子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	今後も継続して正確にアセスメントできるように努めて参ります。
	12	○		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	今後もガイドラインに沿って、概ね半年ごとに、また必要であれば適宜、モニタリング、担当者会議にて見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、具体的な支援内容、個別支援計画を作成していきます。
	13	○		児童発達支援計画に沿った支援が行われている	今後も継続し支援計画に沿った支援が行われるように児童管にも助言を仰ぎながら支援を行って参ります。
	14	○		活動プログラムの立案をチームで行っている	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画していきます。
	15	○		活動プログラムが固定化しないよう工夫している	今後も児童が意欲的に取り組む姿勢を引き出せるよう固定化しない活動を心掛けます。
	16	○		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	今後も適切に個別と集団のそれぞれの活動を組み合わせ、支援計画を立案して参ります。
	17	○		支援開始時には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	今後も毎朝当日の流れ、支援内容や役割分担についての情報共有の上、支援に取り組んでいきます。
	18	○		支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	今後も継続して共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底して参ります。
関係機関や保護者との連携	19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	今後も個別支援経過記録の記載を徹底していきます。
	20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	今後も定期的に児童の現状把握、保護者様のご意向の確認の上、計画の作成や見直しを判断して参ります。
	21	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	今後も継続し児童管が参加して、支援計画や活動案に活かして参ります。
	22	○		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	今後も関係機関との関わりを継続し、連携した支援ができるよう努めて参ります。
	23	○		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	今後対象児童を受け入れることになった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに適切な態勢を検討して参ります。
	24	○		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	今後対象児童を受け入れることになった場合には、関係機関と綿密な打ち合わせと調整の上、受け入れに適切な態勢を検討して参ります。
	25	○		移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今後も繋がりを切らず連絡を取り合い、情報や助言を頂きながら、児童の課題に向き合って参ります。
	26	○		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	該当児童があった場合、関係機関等へ支援内容や活動状況等の情報を提供し、児童の移行先での活動に役立てて頂きたいと思っております。
	27	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後も引き続き情報共有に努め、助言を受けながら、また事業所情報の発信も検討して参ります。
	28	○		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	保護者様のご意向をうかがいながら、近隣の学童保育等との交流機会への検討を行って参ります。
保護者への説明責任等	29	○		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	今後は研修や講義等に積極的に参加し、能力向上に繋げて参ります。
	30	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めます。
	31	○		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	今後は、ペアレントトレーニングの機会を検討し、また継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めて参ります。
	32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	これからも分かりやすく丁寧な説明を心掛けて参ります。
	33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	今後にもご意向や児童の状況に応じ支援計画を意図し、丁寧な説明を心掛けて参ります。
	34	○		定期的に、保護者からの子育てのお悩み等に関する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	今後も継続して、子育てのお悩みについて助言を続け、保護者様に寄り添う対応をおこなって参ります。
	35	○		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	保護者同士の交流を希望されていないご家庭もあり、ご意見をうかがい、ご意向に配慮しながら保護者様同士や職員との交流機会を検討して参ります。
	36	○		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、職員や保護者に事前にご相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	今後も保護者様から忌憚なくご意見を頂けるよう、コミュニケーションを取り、ご意見には出来るだけ迅速な対応を行い、問題を解決できるように努めて参ります。
	37	○		定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	今後も継続して情報の発信を行い、保護者様にも更に知って頂けるよう、努め、また事業所情報の発信も検討していきたくと考えています。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行って参ります。
非常時等の対応	39	○		障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	今後も個々の特性を考えながら、情報伝達や意思疎通に配慮して参ります。
	40	○		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	通所を秘密にしておきたい保護者様もおられるため、今後は保護者様のご意向を踏まえ、地域イベントにご意向と参加したり事業所行事に近隣の方々をお招きする等を検討して参ります。
	41	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	各種マニュアルをご覧頂けるように保護者様へも継続してお知らせして参ります。
	42	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	今後も定期的に避難訓練を続けて参ります。
	43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	事前の情報収集と職員への周知、かつ定期的な振り返りも今後行なって参ります。
	44	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	食物によるアレルギー発作を決して起こさないよう今後も細心の注意を払い、慎重に対応して参ります。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	今後も記録し、情報共有と認識一致の上、事故防止のため、都度振り返りを心掛けて参ります。
	46	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	今後は積極的に社内外の虐待防止への研修へ参加を行い、討議を続けて参ります。
	47	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を守りながら緊急時または、児童の命に関わる事象が起きた場合、止むを得ない状況に限り行われることを保護者様に十分に説明を行い、同意を得て個別支援計画にも記載して参ります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。